

全国国立大学附属学校PTA連合会 会長 殿


学 校 名	宮崎大学教育学部附属小学校
P T A 会 長 名	河 野 修

## 土曜活動等助成金

標記助成金について、下記の通り報告いたします。

### 記

#### 報 告 書

<b>【事業名称】</b>	『宮大附属小土曜講座』 【講座1】 「算数を使って考えよう！」
<b>【事業報告】</b>	<p>9月24日(土)10:00~11:50 実習生講義室で、宮崎大学教育学部学部長の添田佳伸先生を講師に迎え、4, 5, 6年生児童18名を対象に「算数を使って考えよう！」の講座を行いました。</p> <p>陸上トラックでセパレータコースを走るとき、外側のコースの人は少し前からスタートしますが、どのくらい前からスタートするのでしょうか？1コースと2コースの差と2コースと3コースの差が同じくらいに見えますが、本当に同じでしょうか？この問いを計算で確かめる講座でした。</p> <p>円周率・小数点を使って計算しなければなりません。4年生、5年生には少し難しい授業でしたが、電卓・コンパスを使って、周りの受講生たちと話し合いながら問題を解いている姿を見て、チャレンジ精神が旺盛で常に前向きな姿勢で取り組んでいることに、感動しました。</p> <p>当初は、6年生を対象とした講座でしたが、子どもたちに学びの場を提供したかったことと、学部長が先生として授業をしていただけることから、4年生まで受講者の枠を広げて開催しました。</p> <p>子どもたちたちにとって、とても貴重な体験でした。この体験をとおして、子どもたちが将来、学ぶための糧にしてほしいと思いました。</p>
	

#### 助成金使途報告

費 目	内 訳 等	金 額
		円
		円
		円
合 計		円

※ 費目について細分化・特定できない場合は、「運営費充当」等の表記でも可。

平成28年11月30日

全国国立大学附属学校PTA連合会 会長 殿

学 校 名	宮崎大学教育学部附属小学校
P T A会長名	河 野 修

## 土曜活動等助成金

標記助成金について、下記の通り報告いたします。

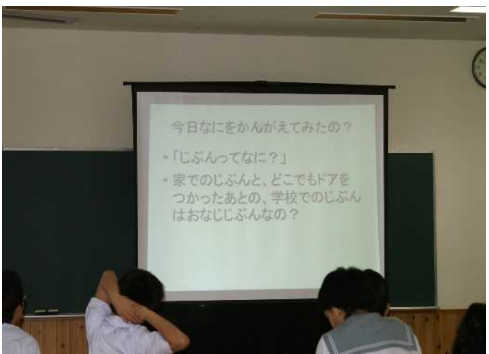
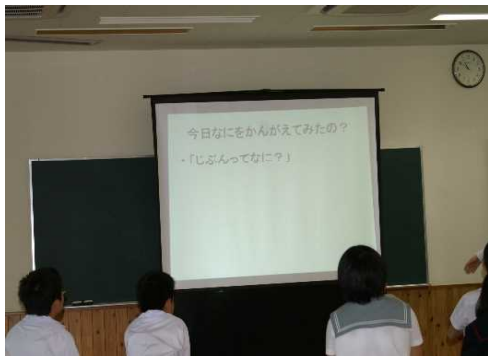
### 記

#### 報 告 書

<b>【事業名称】</b>	『宮大附属小土曜講座』 【講座2】 「やってみよう！子ども哲学」	
<b>【事業報告】</b> <small>(写真は別紙参照)</small>	<p>10月15日(土)10:00～10:50 多目的教室で、宮崎大学教育学部准教授の柏葉武秀先生を講師に迎え、4, 5, 6年生児童12名を対象に「やってみよう！子ども哲学」の講座を行いました。</p> <p>子どもたちに馴染みのあるドラえものの「どこでもドア」を題材に講座は進められました。講師からどこでもドアについて尋ねられると、子どもたちもよく見ているマンガだけにすぐに様々な答えが返ってきました。どこでもドアがあったら使いたいですか？の問いに全員が使いたいと答えていました。次に、ハイテク3Dプリンターで人間をスキャンしフュギアを作成するのビデオを見せた後、「どこでもドア」の仕組みがハイテク3Dプリンターだとした時に、「どこでもドア」を使いたいですか？の問いに対しては、3分の1の子どもたちが使いたいと答えていました。この心の変化について3つのグループに分かれてグループディスカッションを行い、子どもたちひとりひとりが活発な意見交換を行い、いろいろなグループ発表がなされました。</p> <p>最後に柏葉先生から、「自分ってなに？」の問いかけに子どもたちは戸惑いの表情でしたが、ハイテク3Dプリンターの「どこでもドア」だしたら、自分が一瞬消えた後の移動した自分がどんな状況なのか、前と同じ自分なのか、といった自分に対する思いを子どもたちひとりひとりが考えることが出来たようでした。柏葉先生は、「自分ってなに？」これこそが哲学なんだよ。とお答えになり子どもたちも哲学の基本となるものが、解ったようでした。</p> <p>身の回りにいっぱいある材料を探してみて、「友達って何だろう？」「生きるって何だろう？」「いじめって何だろう？」といった疑問などを感じる事が出来た時間になったと思います。</p>	
<b>助成金使途報告</b>		
<b>費目</b>	<b>内 訳 等</b>	<b>金 額</b>
		円
		円
		円
<b>合 計</b>		円

※ 費目について細分化・特定できない場合は、「運営費充当」等の表記でも可。

(別紙) 講座写真



全国国立大学附属学校PTA連合会 会長 殿

学 校 名	宮崎大学教育学部附属小学校
P T A 会 長 名	河 野 修

## 土曜活動等助成金

標記助成金について、下記の通り報告いたします。

### 記

報 告 書	
<b>【事業名称】</b>	『宮大附属小土曜講座』 【講座3】 「文章をよくするにはどう考えればいいのか？」
<b>【事業報告】</b> (写真は別紙参照)	<p>10月22日(土) 10:30~11:15 実習生講義室で、宮崎大学教育学部 教授 塚本泰造先生を講師に迎え、5,6年生児童11名を対象に「文章をよくするにはどう考えればいいのか？」の講座を行いました。2人ずつのグループに分かれ、授業が展開されました。塚本先生が「文章のボリュームは、30秒~45秒のスピーチの内容で原稿用紙1枚分あるので、文章を書く上で大切なのは文章の内容を考えるのではなく、感じたままを書くことが重要である」と話されると、子どもたちは驚きと文章を書くことは案外簡単なんだといった表情を見せていましたが、いざ文章を作る作業になると一様に悩みながらも文章を作り手順をしっかりと身に付けていました。</p> <p>文章を作る上で必要な要素を6つに分けてそれぞれの要素について付箋紙に書き留め、その要素を組み合わせる文章を構成していき、6つの要素の内1つないし2つの要素を省いてその代わりに、例えばとかその訳はといった説明文を入れることで、文章の内容に膨らみを持たせることが出来る説明を受けて、文章を良くするテクニックを学びました。</p> <p>講座の終盤では、子どもたちひとりひとりが、文章を書くことに抵抗がなくなったように見受けられました。</p>
	

### 助成金使途報告

費 目	内 訳 等	金 額
		円
		円
		円
	合 計	円

※ 費目について細分化・特定できない場合は、「運営費充当」等の表記でも可。



学 校 名	宮崎大学教育学部附属小学校
P T A 会 長 名	河 野 修

## 土曜活動等助成金

標記助成金について、下記の通り報告いたします。

### 記

報 告 書	
【事業名称】	『宮大附属小土曜講座』 【講座4】 「おいしさのひみつをさぐろう！」
【事業報告】 (写真は別紙参照)	<p>10月22日(土)10:00~11:50 家庭科室で、宮崎大学教育学部准教授の篠原久枝先生を講師に迎え、小学4, 5, 6年生児童25名を対象に「おいしさのひみつをさぐろう！」の講座を行いました。牛乳に含まれている成分の違いで牛乳の味がどのように違うのか、舌のどの場所でどのような味覚を感じるのかといった授業を受けた後、子どもたちひとりひとりが生クリームと牛乳でバターを作り、クラッカーにつけて食しました。また、レモンをなめた後にミラクルフルーツをなめてみて味覚がどのように変化するかを体験した講座でした。講座の内容は、スライドを使っの説明と、実験を通して子供たちに体感させるものでした。</p> <p>子どもたちは、味の変化や生クリームと牛乳を混ぜるとバターに変化する様子を興味深々に学んだ、とても楽しい約2時間の講座でした。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>

### 助成金使途報告

費 目	内 訳 等	金 額
		円
		円
		円
	合 計	円

※ 費目について細分化・特定できない場合は、「運営費充当」等の表記でも可。

全国国立大学附属学校PTA連合会 会長 殿

学 校 名	宮崎大学教育学部附属小学校
PTA会長名	河 野 修

## 土 曜 活 動 等 助 成 金

標記助成金について、下記の通り報告いたします。

### 記

報 告 書	
<b>【事業名称】</b>	『宮大附属小土曜講座』 【講座5】 「子どもアート広場！！」
<b>【事業報告】</b> (写真は別紙参照)	<p>11月12日(土)10:00～11:50 図工室で、宮崎大学教育学部准教授の大野匠先生、准教授の大泉佳広先生、講師の樺島優子先生を講師に迎え、小学4・6年生を対象に18名の児童の参加の元「子どもアート広場！！」の講座を開催しました。</p> <p>授業の進め方は先生が実際に創作している所をビデオでスクリーンに映し出しながら進めました。授業の進め方は、アルミホイルを使って最初は人間の形を作り、その後は百鬼夜行絵巻を例に挙げ、立体型附属小百鬼夜行絵巻の作品を作成しました。子どもたちは、想像を膨らませながら意味不明な造作物や机をよじ登ろうとしている人間の姿を創作したりと、夢膨らむ作品を作り上げました。最後に影絵で子どもたちの作品を写しだし幻想的な空間を演出して、子どもたちは、図工を超えた美術を体験できた講座でした。</p>
	

### 助 成 金 使 途 報 告

費 目	内 訳 等	金 額
材料費	食材費・アルミホイル他	17,860円
学生交通費	延 7名	7,000円
印刷代	募集案内文書・報告書作成代	27,000円
	合 計	51,860円

※ 費目について細分化・特定できない場合は、「運営費充当」等の表記でも可。